

切手で見る富士山の国際的なイメージ

— 託された多様なメッセージ

富士学会顧問 中川 章



自己紹介

私は今年80歳ですが、昔から好奇心旺盛な方でした。切手の蒐集も趣味の一つで、いろいろなテーマを決めて蒐集しています。私が大学で専攻したのは地理学ですが、就職は総合商社で海外勤務が長く、外国の切手に触れる機会も多くて、コレクションは日本のみならず、世界各国をカバーしています。既に、現役は退いています。所属する団体は、日本地理学会、日本地図学会、富士学会、日本郵趣協会、日本学生航空連盟などです。今日は、富士学会顧問の肩書きでお話しさせていただきますが、富士山に限らず、切手はいろいろな役割を果たしております。

ですので、今日は切手の果たしている役割の一端を、映像を中心に、お話しさせていただきます。まとまりのない話になるかもしれませんが、お気軽に画像を楽しんでください。

富士学会

まず、富士学会について一言。富士山は日本の象徴として、日本一の高さ、美しい姿、信仰の対象、文学の題材などなど、幅広く多くの方に親しまれています。この富士山を、いろいろな角度から研究しようという動きが熟して、2002年10月、東京大学名誉教授の西川治先生と、建設省出身で富士常葉大学教授(当時)の竹林征三先生を中心に、多くの関心あ

る人々が集まって、東京で富士学会が結成されました。当初は、富士常葉大学に事務局を置きましたが、その後、東京・世田谷の日本大学文理学部地理学教室に移り、研究会や大会の企画、会報の発行などを続けております。2007年11月には、第1回全国ふるさと富士サミットを滋賀県野洲市において開催。野洲には三上山(野洲富士)があり、東海道線の車窓から、小さいながらも、美しい三角形の姿がみられます。次に、2008年7月に金春流桜間会と共催で能「富士山」を国立能楽堂で上演、更に2012年11月には、富士学会創立10周年記念行事として金剛流に協賛し、能「富士山、羽衣」を上演いたしました。

郵便制度と切手の歴史

さて、切手の話ですが、郵便は、古くはローマの駅制、イタリア（ハプスブルク帝国）のタキシス郵便、日本でも中世以来飛脚便などの歴史があります。近代郵便システムの誕生は19世紀の英国でした。英国では、早くから馬や馬車による郵便制度がありましたが、利用できるのは王室と一部の役人、貴族に限られていました。これを、誰でも利用できて、どこから出しても均一料金、受取人払いから、差出人払いという、現在のシステムを考案し発表したのは、ローランド・ヒルという人で、英国政府もこれを受け入れ、1840年、1ペニー郵便が誕生しました。料金は1ペニーと2ペンスの2種類で、ビクトリア女王の横顔を図案にした、世界最初の切手は黒色の1ペニーが代表して、「ペニーブラック」と呼ばれています。

日本では、1868年明治維新で誕生した新政府は、1853年浦賀に來航したアメリカのペリー提督率いる東洋艦隊をはじめ、ロシア、オランダ、フランス、英国など欧米諸国から、開国を迫られており、江戸幕府末期には、各国と条約を

結んで、横浜などに居留地ができました。しかし、日本の近代化が遅れていることで、いろいろな面で日本に不利な、不平等条約でした。明治政府はこれを改めるよう、いろいろな改革を行いました。明治3年（1870年）前島密を英国に派遣。前島は、英国の郵便制度を調査して帰国後、駅通頭に任命され、日本の郵便制度の創設に尽力、日本の近代的郵便制度の基礎を確立しました。

日本の郵便制度の普及は早く、江戸時代からの飛脚制度と郵便を扱う地方の名家や庄屋などの協力の上に、1872年には早くも全国をカバーしました。1873年4月からは全国均一料金になり、1875年1月、外国郵便の取り扱い（初めは米国経由）が始まりました。また、2年後の1877年に万国郵便連合（UPU、1874年設立）にもいち早く加盟し、1880年3月には諸外国が自国向けに日本国内に置いていた外国局の廃止を実現しました。ここに、治外法権の排除の先陣を切りました。

日本最初の切手は1871年4月20日（旧暦明治4年3月1日）発行の手彫りの銭四十八文、百文、二百文、五百文の4種で、通称「竜切手」と呼ばれています。その後の日本の切手の図案は、欧米

のように君主の肖像や紋章ではなく、「鳥切手」「桜切手」「小判切手」「菊切手」などの図案が続きました。

いうまでもなく、切手は、郵便料金の前納の証紙として、原則として国家の名において発行されます。そして、国家はあらゆる機会を捉えて、自らの正当性や、国家理念、政策などを、国の内外に向けて主張しようとするものである以上、切手がメディアとして活用されるのも、自然な成り行きであります。

1922年1月1日、外国郵便料金の値上げに合わせて、外信用額面として発行されたのが、俗に「富士鹿切手」と呼ばれるシリーズです。UPUの規定により、郵便の種類によって刷色が、緑、赤、青に定められていました。日本もこれに倣って、富士山と鹿の図案で4銭（緑）、8銭（赤）、20銭（青）の3種が発行されました。富士山は、日本を代表する図案として、切手の発行が始まって以来51年目に初めて登場したわけですね。

第2次大戦中にも、外国郵便用の「富士と桜」の20銭切手がありましたが、料金の値上げと共に国内外の区別なく使えるようになり、終戦後は、富士山は主として記念切手の図案に採り入れられ、とくに、1989年の「ふるさと切手」の

制度ができてからは、大量の富士山の記念切手が発行されています。ここで、私たちが2005年の富士学会の大会で発表した富士山の切手、1922年の「富士鹿切手」以来、近年までの主な富士山切手をお見せしましょう。

切手になった富士山

「富士鹿切手」(1922～37年) (図1)



図1 1922年1月1日、外国郵便料金が改訂され、万国郵便連合(UPU)条約に定められた

刷色の4銭(印刷物用—緑)、8銭(はがき用—紅)20銭(書状用—濃青)の切手が必要になり、新しい図案の切手が発行されました。主題に「富士山」と「鹿」がつかわれているので、一般に「富士鹿切手」と呼ばれています。刷色や紙質を変えながら1937年まで発行され続けました。

「震災切手」(1923～24年) (図2)

1923年(大正12年)9月1日、突然関東地方南部を襲った大地震(マグニチュード7・9)と、これによる大火災



図2 1925年10月1日、外国郵便料金が改訂され、UPU条約

によって、東京横浜地方を中心として、大きな被害が生じました。このため、東京にあった印刷局や通信省の切手倉庫なども焼失し、切手の製造設備、資材及び完成して全国の郵便局に配達するために貯蔵してあった、全ての切手が失われてしまいました。このままでは、全国的に切手が欠乏する恐れがあったので、応急措置として、関西などの民間会社で暫定的な切手を製造させることが計画され、その結果生まれたのが「震災切手」と呼ばれています。5厘～20銭の9種、裏糊も目打ちもなく、短命でした。

「風景切手」(1926～37年) (図3)



図3 1925年10月1日、外国郵便料金が改訂され、UPU条約で定められた刷

色の2銭(印刷物用)、6銭(はがき用)、10銭(書状用)の切手が、新しく発行されました。「風景切手」と呼ばれるシリーズで、日本の普通切手として初めて横型

で、日本の名所(富士山、日光東照宮、名古屋城)が図案に採用されました。

普通切手(昭和切手)

第一次昭和切手(1937～45年) (図4)



図4 1937年(昭和12年)から、多様化した郵便料金に対応して、5厘～1円までの新切手

が発行されましたが、この内、外国郵便用は20銭の「富士と桜(青色)」でした

第二次昭和切手(1942～46年) (図5、6)



図5 1942年(昭和17年)より、郵便料金の値上げと戦意高揚の目的で、一部図案が変更されました。版式の変更に図案の簡略化が図られましたが、外国用「富士と桜」



図6 (20銭)と国内用「八紘基柱」(4銭)に富士山が使われています。

第三次昭和切手(1945～46年) (図



7) 戦局が進むにつれて、滝野川工場が戦火に遭ったことなどから、平版で民間に委託するようになり、20銭の「富士と桜(青)」の他に、同じ図案で国内用の10銭「富士と桜(橙)」が発行されました。いずれも裏糊、目打ちがなく、はさみで切り離して使用されました。

新昭和切手(1946~48年)(図8) 敗戦後は、アメリカの占領行政で全ての体制が民主主義、平和主義の方向へ進められ、国名の表示も「大日本帝国」から「日本郵便」と改められ、新しい図案の切手が1946年(昭和21年)から発行されました。このシリーズの1円に葛飾北斎の富嶽三十六景のうちの1枚、「山下白雨」が選ばれました。



8) 年賀切手(図9) 1900年(明治33年)の年賀状から、特に指定された局で、前年12月の一定期間内に引き受けたものに、1月1日の日

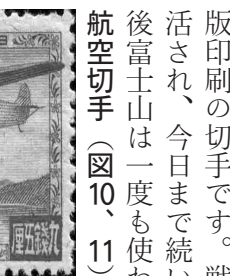
付印を押ししたものをまとめて、元日に配達する制度が実施されました。1906年(明治39年)の年賀状からは、この制度が、全国の郵便局で実施されるようになりました。1935年(昭和10年)12月1日、翌36年(昭和11年)の年賀状に使う普通切手と同型の1銭5厘切手が発行されたのが、渡邊華山の「富嶽の図」を図案とした凸版印刷の切手です。戦後、年賀切手も復活され、今日まで続いています。その後富士山は一度も使われておりません。

航空切手(図10、11) 航空郵便が発達して、定期便航空が開設されると、このための切手が発行されるようになり、日本でも初の定期航空使用切手として、1929年(昭和4年)、フォッカー7型3Mを描いた5



9) 航空切手(図10、11) 航空郵便が発達して、定期便航空が開設されると、このための切手が発行されるようになり、日本でも初の定期航空使用切手として、1929年(昭和4年)、フォッカー7型3Mを描いた5

航空切手(図10、11) 航空郵便が発達して、定期便航空が開設されると、このための切手が発行されるようになり、日本でも初の定期航空使用切手として、1929年(昭和4年)、フォッカー7型3Mを描いた5



10) 航空切手(図10、11) 航空郵便が発達して、定期便航空が開設されると、このための切手が発行されるようになり、日本でも初の定期航空使用切手として、1929年(昭和4年)、フォッカー7型3Mを描いた5



11) 航空切手(図10、11) 航空郵便が発達して、定期便航空が開設されると、このための切手が発行されるようになり、日本でも初の定期航空使用切手として、1929年(昭和4年)、フォッカー7型3Mを描いた5



12) 公園切手(図12、13) 1936年の「富士箱根」に始まり、1956年の「西海」まで、19の国立公園切手(含む台湾)が発行されました。国立公園切手の第1号は「富士箱根」であり、大日印刷による日本最

種(8銭5厘、9銭5厘、16銭5厘、18銭、33銭)が発行されました。背景の芦ノ湖の向こうに富士山が描かれていますが、通常「芦ノ湖航空」とよばれています。現在使用されている航空切手は、1953年(昭和28年)発行の「大仏航空」シリーズで、鎌倉大仏とDC4型機の背後に小さく図案化された富士山が見えています。(4種、70円、80円、115円、145円)

公園切手 1931年(昭和6年)に国立公園法が定められました。その後調査が進められて、1934年になって初めて、瀬戸内海、雲仙、霧島の3か所が指定されました。

●第一次国立公園切手(図12、13) 1936年の「富士箱根」に始まり、1956年の「西海」まで、19の国立公園切手(含む台湾)が発行されました。国立公園切手の第1号は「富士箱根」であり、大日印刷による日本最



図15

1950年7月、毎日新聞が一般から募集した観光地百選は海岸、山岳、湖沼などの10のジャンルでそれぞれ10か所ずつを選んだものですが、それぞれの第1位のものを取り上げて、1951年（昭和26年）



図14

1950年7月、毎日新聞が一般から募集した観光地百選は海岸、山岳、湖沼などの10のジャンルでそれぞれ10か所ずつを選んだものですが、それぞれの第1位のものを取り上げて、1951年（昭和26年）



図13

初グラビア印刷されたのは1銭5厘、3銭、6銭、10銭の4種で、いずれも富士山の写真で有名な岡田紅陽の原画写真が使用されています。
●公園切手（観光地百選）（図14、15）



図16

諸外国に倣って日本も記念切手を発行する事になり、その第1号は1894年（明治27年）の「明治銀婚記念」ですが、富士山を題材にしたものは、なかなか現れず、富士山が図案になっ

た最初の切手は、1956年（昭和31年）11月19日発行の「東海道電化完成記念」で背景の浮世絵は広重の東海道五十三次のうち「由井」を用いており、小さく富士山が覗いています。（図16）
●自然公園の日制定記念
背景の富士としてではなく、富士山自体を主題とした最初の記念切手は195

から、1953年（昭和28年）にかけて発行されました。この内、1951年（昭和26年）4月2日発行の「日本平」は、平原の部門で第1位になったものですが、その中の「茶摘み」、「日本平よりの富士」はいずれも岡田紅陽の原画写真によるものです。
一般記念切手



図18

河野孝治の原画によるグラビア印刷で、国会議事堂を前景に、北斎の「赤富士」が大きく描かれています。（図18）



図17

9年（昭和34年）7月21日発行の「自然公園の日制定記念」です。原画は島田武夫で、この切手は日本最初のザンメル凹版という印刷型式で出されました。（図17）

●富士山頂レーダー完成記念
富士山の全体像でなく、山頂の剣が峰の気象レーダーを図案としているのが異色です。1959年（昭和34年）の伊勢湾台風をきっかけに、台風の進路を予測するレーダーが必要との認識が高まり、高所での幾多の難工事の末、ようやく完成しました。1999年10月には、その

外国切手になった富士山(1)
 富士山は日本の象徴として広く世界に知られているため、外国で発行された切

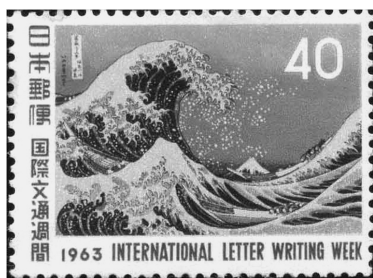


図20

の「富嶽三十六景」を題材とし、1960年の広重の「箱根」と、1963年から69年までの北斎の「三十六景」で富士山が見られます。(図20、

(1958〜62年)を、次いで葛飾北斎の「富嶽三十六景」を題材とし、1960年の広重の「箱根」と、1963年から69年までの北斎の「三十六景」で富士山が見られます。(図20、



図19

役割を氣象衛星「ひまわり」に譲って解体されました。(図19)
 ●国際文通週間万国郵便連合(UPU)の提唱により、1957年(昭和32年)から国際文

の記念切手を発行しました。切手の図案はペリー提督の肖像とともに、江戸湾停泊中の黒船を題材としたものですが、前



図21

0年目にあたり、アメリカはペリーの上陸した日に



図22

戦後、1953年、ペリー提督率いる4隻の黒船が浦賀沖に現れ、日本に開国を迫ってからちょうど10

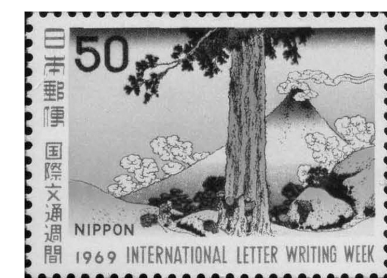


図23

手にも、しばしば登場します。古くは、1935年、満洲国の「皇帝訪日記念」、1943年、フィリピンの「富士山とマヨン山」があります。いずれも日本の支配下での発行で、例外と云えましょう。(図22、23)



図24

景に日本の侍、背景に富士山が描かれています。これが、純然たる外国切手に富士山が描かれた最初の切手だと言われています。(図24)
 外国切手になった富士山(2)



図25 (チリ発行)

図26 (日本発行)

諸外国にも富士山と形のよく似た成層火山が沢山あり、その幾つかは○○富士として現地在住の日本人にも馴染みのある山が多くあります。

面白いのは、1997年(平成9年)9月に日本とチリで同時に発行された修好100年記念切手です。若干サイズに違いはあるものの全く同じ図案で、北斎の「神奈川沖浪裏」を思わせる、逆巻く大波の向こうに小さく見える富士山らしい山が、実はチリの「オソルノ山」とされています。(図25、26)

外国切手になった富士山(3)



図27

1964年(昭和39年)の東京オリンピックに際しては、多くの国が日本の事物を取り上げて記念切手を

発行しました。その代表的な例として、ハンガリーの切手(小型シート)をお見せします。(図27)



図28

外国切手になった富士山(4) オリンピックに次いで、1970年(昭和45年)の大阪万博に合せて、多くの国が日本をテーマにした切

手を発行しました。既に、有名になった新幹線と共に、多くの国が富士山をテーマにした切手を発行しています。代表的な例として、図21と同じ北斎の「甲州三島越」を使ったチェコスロヴァキアの美しい切手をご紹介します。(図28)

外国切手になった富士山(5)



図29 (国連)

2002年(平成14年)国連は国際山岳年を提唱、自ら世界の有名山岳の切手を発行しました。その題材として、日本人の山岳写真家、白川義員氏の写真集「世界百名山」から採用した12枚の写真の中の1枚が「月光の富士」です。その他世



図30 (バブアニューギニア)

界各国で山岳切手が発行され、そのうちの幾つかは日本の富士山を選んでいいます。一例として、バブアニューギニアのものを示します。また20



図31 (イラン)

01年(平成13年)の日本国際切手展に際しても、幾つかの国で、富士山をテーマにした切手を発行しています。ここには、イランのものを示します。(図29、

30、31)

日米修好通商条約100年記念

日本政府は、正式な日米修好通商条約締結の年は条約の批准書をアメリカに届けた1860年とし、1960年に各種の記念行事を行い、切手も発行しました。切手は、正使、新見豊前守正興以下の使節団を乗せた「咸臨丸烈風航行之図」と、



図32



図33

米国のブキャナン大統領が使節一行と会
見した場面の2種です(図32、33)。

政治的役割、主権、領土の主張

切手は時として
主権や領土権を主
張する手段として
も使われます。上
の4枚は北方千島
を題材にした切手
です。(図34)



図34
アメリカ(対日本)
原爆切手騒動(図
35)

1991年、1
995年、アメリ
カ郵政公社は第2
次世界大戦の回顧
として、参戦50年
にあたる1991
年から毎年1回、
50年前の戦争にま
つわる出来事を10件取り上げ、それらを
組み合わせたシート状の記念切手を発行
してきました。
広島と長崎への原爆投下については、
これが日本の降伏を早め、両軍の死者を
減らすことになったとして、1995年

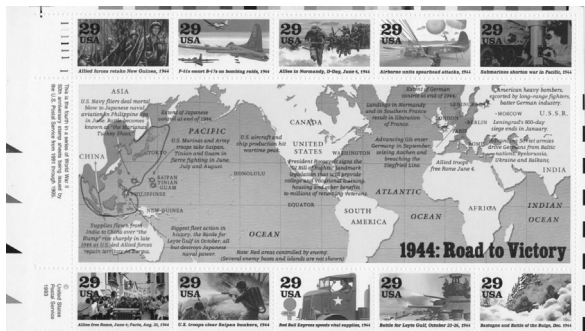


図35

トン大統領も乗り出し、「真珠湾追憶の
日」を12月7日に設定して退役軍人の歓
心を買ひ、推進派の圧力を宥めました。
代わりに、記念切手の図案は日本軍降伏
を発表するトル
マン大統領の写
真を元にしたも
のに変更されま
した。



図36

最後に、政治
的切手として珍
しい小泉首相
(当時)のピョ

発行予定の
図案の中に
「きのこ雲」
の図案の切
手を含める
と発表しま
した。これ
に対して日
本は政府・
民間一丸と
なり、各レ
ベルでこれ
にクレーム
をつけたた
め、クリン

ンヤン訪問(2002年)を題材にした
北朝鮮の切手をご紹介します。
(図36)
おわりに
「たかが切手、されど切手」
以上、切手の持ついろいろな側面を見
て参りました。指の先に乗るような小さ
な切手には、実に沢山のインフォメーショ
ンが隠されています。しかし、これが国
家間の友好の促進に寄与することもあれ
ば、紛争の種ともなることが、お解りい
ただけると幸いです。

切手には、発行者のいろいろな思いが
託されていることを知り、じっくりと観
察してください。
(2014年11月7日・フォーラム)

講師略歴(なかがわ あきり)

- 1934年 朝鮮咸鏡北道生まれ
- 1958年 東京大学教養学部卒業
- 住友商事株式会社入社
- ロスアンジェルス、ニュー
ヨークなどに在勤
- 1990年 (株) 銭高組に転籍
- 2007年 退職
- 現在 日本地理学会、日本地図学会、
富士学界、日本郵趣協会などに在籍